



手話サークル研究班



～ 「手話」は聴覚障害者にとって大切な言葉です ～

～ 「手話サークル研究班」の思い ～

メディアや地域で開催されている手話講習会の影響で手話に興味を持つ人たちが増え、「手話」に対する理解は確実に広がってきました。

でも、「手話」への理解が広がること、「聴覚障害者」への理解が広がることは、イコールではありません。手話に関わる時間、年齢等々、さまざまな条件の人たちが集うサークルでは、当然手話技術レベルはまちまちだと思いますが、そこにこだわる前に「手話」を健聴者の自己満足な趣味に終わらせることなく、学んだ手話を通して「聴覚障害者と共に歩む」ということが大切だと思います。

「手話サークル」の役割は、学んだ手話を通し、ろう者と交流しながら「手話」と共に「聴覚障害」に対する理解を深め、聴覚障害者と地域をつないでいく「手話に学ぶ場所」だと考えます。

～ 「手話サークル研究班」のプロフィール ～

☆2004年4月、9名のメンバーで発足。

☆神通研集会・分科会「手話サークル」の運営を担当。

☆その他、神通研・関東通研・全通研の行事、集会に参加。

☆2010年7月現在、川崎2、横浜5、県域10 計17名で活動中!!

横浜市南区・手話サークルかもめ 特別企画

「忍足亜希子さん トークショー!」

‘10 7月29日(木) 開演 19:00~20:20 受付開始 18:30

フォーラム南太田(横浜市営地下鉄吉野町駅下車 徒歩7分)

参加費: 800円 締切: 7/15(木) *定員になり次第締め切り

申込・お問合せ先: kamome@yokohama.nifty.jp

～ ‘09 神通研集会報告⑨～

<コーディネーターのまとめ>

グループ内でいろいろな意見があったと思うが、大切なことは、お互い納得、確認すること。話し合って終わるのではなく、行政に要望していく必要がある。

行政にも「インフォメーションギャップ=情報のズレ」「知識のズレ」「価値観のズレ」がある。行政に「情報をください」と要望すると、硬く難しい文章を出してくる。

「やさしい日本語」で情報を発信するとき、大切な情報を絞り込んで伝えるルールができています。きちんと情報を伝えることが大切。

<助言者のまとめ>

意見交換をする時、いつも素早く、立派な結論に到達できるわけではない。

「災害対策は必要」という考え方は持ち続け、「今後、具体的にどうするか」ということは、話し合って、変えていけばよい。

議論を重ね、固まるとそろそろ変わらぬに続けていくべきものとして蓄積される。

ろう者にとって手話サークルは、手話が使え、手話で情報が共有できる大切な場所。

ろう者と健聴者がお互いを尊重していくことで、繋がっていく。

今後もサークル活動に期待している。

<司会者まとめ>

今日話し合った内容を地域に持ち帰り、話し合い、来年この分科会に持ち寄っていただくと嬉しく思う。

～ 定例会 ‘10/6/20(日)～

集会前最後の定例会を開催しました。

各地域からの報告、伝わりやすい日本語、災害必需品の確認、サークルの自慢と不満等、内容の確認と役割分担を行い、当日を待つばかりとなりました。

サークルの大切な役割である災害情報の受発信と全国的に減少傾向にあるサークル会員のみなさんが元気になれるよう、語り、笑い合いましょう!

集会でお待ちしています。

【次回定例会】

‘10/8/29(日) 13:10~

県民活動サポートセンター706

～サークル研究班メンバーのささやき～

主人は長年トレーニングジムに通っている。そこに、プロレスラーの川田利明さんも来ていて親しくなり、ここ数年良き飲み友達としお付き合いしている。

最近はプロレス業界も不景気で、とうとうこの度別の仕事も始めることになった。

何の仕事かといと、ラーメン屋である。東京都世田谷区喜多見にあり、「麺ジャラスK」という店名で、もちろん川田さんがラーメンを作っている。

プロレス好きのラーメン好きの方は、ぜひ一度お試しを……。味噌カレーめんと唐揚げは結構おいしかったですよ! ペンネーム たわし